

浦安市民生委員児童委員協議会

第34号



みんなせい

〒279-0042 浦安市東野1-7-1総合福祉センター内 ☎047(355)5271 発行責任者／渡邊 武

私たちは、あなたの地域の相談相手です



- 一人暮らしの方の見守り
- 声かけ、安否確認など高齢者世帯への訪問
- 子育ての仲間づくり、ネットワークづくり
- 行政とのパイプ役

民生委員バッチは昭和11年に作成され、現在のもの（写真）は昭和35年に国民に公募し、4,358点の中から選ばれたものです。

幸せの目覚めを示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

最近では民生委員マークとして、印刷物等にも活用されています。



情報・意見交換を本格化 包括支援センターと民児協

地域包括支援センター（愛称ともづな）と浦安市民生委員児童委員協議会（以下民児協）では、「高齢者を支える、街づくり」を進めるため、5地区での情報・意見交換を本格化する動きが高まってきました。

高齢者福祉を充実

これは高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことができるよう、諸問題について意見交換し、高齢者福祉の充実をはかるのがねらいです。この種の交換会は北地区が10年程前から実施しています。残りの4地区でも交流の機会を増やしていく考えです。ともづなは現在、猫実と新浦安に拠点を置き、健康、医療、福祉、介護など様々な相談のつており、今後は拠点を4か所に拡大する計画にあります。一方、民児協は海浜、東、西、

南、北の五地区に分かれて、福祉活動に取り組み、高齢者へは見守り活動、行政に対する相談などを日常的に行っています。いずれも個人情報守秘義務のもとに活動していますが、それぞれの地域で、相互の情報を共有し、高齢者の方々が安心して生活できる環境づくりを進めようというわけです。具体的には、①新聞等がたまっていないか、②カーテンや雨戸が何日もしまっていないか、③何度訪問しても応答がない等の情報をもとに、両者が協力して対応していかうとしています。

世代間で支え合う社会を目指して

浦安市民生委員児童委員協議会

会長 渡邊 武



日頃、民生委員・児童委員の活動にご理解、ご協力を頂き有難うございます。

昨年、浦安市教育委員会及び小中学校のご協力を得て、初めて「みんなせい」を市内小中学校の児童の皆さんに各家庭に持ち帰って頂きました。民生委員は児童委員を兼ねて

おり、児童及び妊産婦の皆さんの生活及び環境の状況を把握し、必要な情報提供などの支援を行っています。地域の児童、父母の皆さんの中には児童委員、主任児童委員の存在があります。子ども達が、健康、精神両面で健やかに育ち、将来の社会を支えてくれることが何より

大切です。子ども達の成長を温かく見守る、子ども達は社会で育てる、そんな気持ちを含めて、日々の活動を進めたいと思います。一方、高齢化は急速に進み、シニア世代の皆さんの参画なくしては社会の維持・発展は期待できない事態になっています。社会の将来を担う子ども・子育て支援の面でもシニアの皆さんの役割に期待するところは大きく、それを実現する社会システムの確立が大変重要で、シニア世代と若い世代が価値観を共有しながらお互いに交流し、支え合う、そんな社会を目指して、民生委員・児童委員は活動を続けたいと思います。

部 会 活 動

水の科学館を見学

広報・研修部会

「水」について学ぶ場所、有明にある東京都水の科学館を訪れました。

朝起きてまずお世話になる水、水道の蛇口をひねると出てくる水が、どこで生まれ、どこへ流れて私達のところまで来てくれるのか、水の不思議と大切さを科学の視点で紹介されています。

3Fにあるスタジオは大迫力の映像で水の旅、森や生き物達との共生を学び、2Fでは実験やクイズ、水と遊びながら体感ができるミュージアムになっています。安

全でおいしい水作りに努めているBFの現場見学もあり、ご家族でぜひ訪れてみてください。



学期ごとに部会を開催

こども部会

こども部会は学期ごとに部会を開催しています。6月は東野児童センターの説明と見学を、12月は国府台母子ホーム川口施設長から施設の成り立ちや現状について講演して頂きました。

次回3月はこども家庭支援センターより市内の現状についてお聞きします。日頃は5地区に分かれ活動しますが部会では地区ごとの情報交換も行い、これからも子ども達を取り巻く問題を考えしていきます。

緊急連絡網等を急ぐ

シニア部会

シニア部会では市民児協緊急時連絡網の確立と、個人情報取扱いについてのマニュアル作成を進めています。連絡網は5年前の震災時の反省から急いでいたもので、連絡体系、安否確認方法など基本案をまとめました。また個人情報保護については、十分な情報確保と管理体制の強化が望まれます。行政機関等に情報提供をお願いするためには、私達も個人情報に関して、慎重に取扱わねばならないと、考えています。



「ネウボラ」を勉強 近隣からも多数参加

浦安市民児協は、子ども・子育て支援の研究の一環として、昨年8月、文化会館で松崎市長を講師に招き「フィンランド視察とこども施策について」と題した研修会を開催しました。これは一昨年に開いた当市の子ども・子育て支援施策に関する研修会に続く第2弾です。

今回の研修会は関心度の高いテーマであったため、近隣の市から70名の参加をいただき、総勢280名に及ぶ大盛況の研修会になりました。

今、わが国では少子化対策が急務となっており、浦安市ではフィンランドのネウボラ（育児支援サービス）をヒントとした新たな子育て支援・少子化対策の先進モデル都市として、注目されています。松崎市長の話は、現地の視察報告と「浦安版ネウボラ」の確

立に向けた諸施策の紹介でした。ネウボラは妊娠から出産、子育て・就学までを切れ目なく支援する施策と言われ、出席者にとって、その実態を知る良い機会になりました。



「交流会」も開催

当協議会では研修会に引き続き、文化会館会議室で、出席いただいた他市民児協の方々とは「交流会」を開きました。これは児童委員活動に伴う諸問題について意見交換したもので、総勢約50名が参加。これまで地区単位での交流はあったが、大がかりなものは今回が初めて。交流会は主催者を代表して渡

障がい者週間イベントに参加

今年4月1日に「障がい者差別解消法」が施行されるのに先立ち、昨年12月5日（土）、新浦安駅前において、障がい者週間記念キャンペーンが、大々的に開催されました。

民生委員のブースではポップコーンの販売をし、各地区の有

志が作業に従事しました。

ポップコーンはお年寄りや子ども達に人気で、一人で5袋も買い求めた人もいました。28年度も開催されるようであれば、またキャンペーンに協力したいと考えています。

邊会長の御礼の言葉に続いて、松崎市長と浦安市社協の大塚会長が歓迎の挨拶を述べられました。このあと来賓を代表して千葉県民児協の大野会長から感謝の言葉と、主任児童委員が2つの会議の司会進行を務めたことにふれて、「浦安市の主任児童委員の活躍ぶりに敬服しています」とお褒めの言葉をいただきました。



知りたい！一問一答

民生委員は民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなく（無報酬）ボランティアとして活動しています。市町村ごとに設置される民生委員推薦会による選考など、公正な手続きを経て推薦、委嘱されます。

委員は地域住民の一員として、担当する区域で、住民の生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめとする支援やサービスへの「つなぎ役」として役割を果たし、高齢者や障がい者世帯の見守りや、安否確認などの重要な役割を果たしています。

なお、民生委員・児童委員の一部は、厚生労働大臣により「主任児童委員」に指名されています。主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する委員で、平成6年1月に制度化されました。それぞれの市町村にあって担当区域を持たず、区域担当の民生委員・児童委員と連携しながら、子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。

受賞の報告

厚生労働大臣表彰

平成27年11月21日
全国社会福祉大会
南地区 鈴木 成子

鈴木地区会長は昭和58年から現在まで30年余りにわたって民生委員として地域住民の相談相手や見守りに携わっており、今回その功績が認められたものです。



全国社会福祉協議会会長表彰

平成27年11月13日
全国社会福祉大会
南地区 山崎 順子

千葉県知事表彰

平成27年11月13日
千葉県社会福祉大会
西地区 渡邊 武
西地区 鈴木 由起子

地区レポート

千葉ダルクへの訪問

北地区

10月に薬物依存症で苦しんでいる人達の厚生施設へ研修に行きました。なかなか依存症から抜けきれずに、この厚生施設で日々の生活を送っている方々の体験をお聞きすると、如何に薬物が怖いものであるかが伝わります。マスコミでもよく取り上げられますが、簡単に手に入る薬物の危険さを、皆にもっと知ってもらいたいと感じました。



製鉄所を見学

東地区

「千葉県議会」「県警察本部」「県防災危機管理センター」「JFEスチール(株) 東日本製鉄所」の施設見学を実施しました。

JFE東日本製鉄所は、千葉地区で初めて建設された鉄鋼一貫製鉄所。作業所の中にはほとんど作業員の姿はなく、すべての操作はコンピューター室で行われているとのこと。現代社会だと痛感しました。この製鉄所で生み出される製品は、私達の暮らしの中に深く広く浸透して、生活していく上で必要な『製鉄』だと感じた見学でした。



市川むつみ会を見学

西地区

保育園と老人施設を併設し、世代間交流を目指した市川むつみ会を見学しました。

市川北西部の春木川が流れ、緑と自然に恵まれた広い地域に設置された園児と老年寄りとの交流を大切にしながら温かみあふれた施設でした。

つくし保育園児106名はのびのびと育てられ、しらぎく園も一日24名25名の利用がある。地域住民との交流も活発に行われており、地元中学の生徒数名が職場体験に来所していました。



児童養護施設への訪問

海浜地区

尊ばれ癒され育まれる事を理念に建設された「はぐくみの杜君津」には40名の子も達が入所し、若い職員や地域の人々の温かさに包まれながら生活していました。



が、中学や高校を卒業すると同時に社会へ巣立っていきます。その後は自立する事になりますが、精神的にも経済的にもかなり大変なようです。改めて子ども達の退所後のアフターケア事業の重要性を感じました。

「千葉県議会」と「県警察本部」を訪問

南地区

県警本部では、通信指令室と交通管制センターを見学。指令室では県内の一〇番通報は全てここへ繋がれ、その数一日約1300件にも及ぶ

というお話でした。通報が入ると机上のランプが、緑・待機、青・対応中、赤・重要案件ととても段階取り良く処理されていました。

管制センターでは県内の交通情報や掲示板に写し出され、渋滞情報は瞬時に分析。緩和や事故の減少に向けて努力してくださる様子を知ることが出来ました。



民生委員・児童委員は地域における相談・支援に際し、守秘義務があります。安心してご相談ください。

● お問い合わせは各地区会長までお願いします ●

東地区	会長 森下 靖子 ☎047-350-5625 北栄4丁目・猫実1・2丁目・海楽・美浜全域
西地区	会長 渡邊 武 ☎047-355-1304 堀江・富士見・舞浜全域
南地区	会長 鈴木 成子 ☎047-351-3985 富岡・今川・弁天・東野・高洲全域
北地区	会長 高梨 鎮雄 ☎047-352-4318 当代島全域・北栄1・2・3丁目・猫実3・4・5丁目
海浜地区	会長 笠井 和枝 ☎047-382-0233 入船・日の出・明海全域

編集後記

松崎市長を招いての研修会には近隣の市からも多数の参加があり、子育て・少子化対策への関心が高いことを物語りました。また、高齢者対策も大きな課題となりました。これらの問題に対し、民生委員・児童委員の立場から、何が出来るか、何をしなければいけないか。市民の皆様意見を拝聴しながら、勉強をしていかねばと、気持ちを新たにしております。